

# フィジカルアセスメント

《担当者名》教授 / 泉 剛

助教 / 藤崎 博子 非常勤講師 / 山口 俊司 (アイン薬局) 特別講師 / 大川原 淳 (大川原脳神経外科病院)

## 【概要】

フィジカルアセスメント (診察によって患者さんの身体所見を得て、病状を評価すること) は、薬の有効性や有害作用を確認するために必要な技能である。また、在宅訪問診療などで、他の医療スタッフとコミュニケーションをとる際にもフィジカルアセスメントの知識が必要である。本科目はフィジカルアセスメントの実習を含む講義であり、卒後の薬剤師実務に役立つことを目指している。

## 【学修目標】

バイタルサイン (意識、呼吸、脈拍、血圧、体温) および胸腹部、神経系の身体所見の取り方を実際に経験し、その臨床的意義について理解し、説明できる。

バイタルサインについては独力でも所見を取ることができるようになる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	胸部の診察	胸部におけるフィジカルアセスメントの実際と所見から得られる患者の状況を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E1-(2)- -1、E1-(2)- -8	泉 剛
2	腹部の診察	腹部におけるフィジカルアセスメントの実際と所見から得られる患者の状況を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E1-(2)- -1、E1-(2)- -8	泉 剛
3	神経系の診察法	神経系におけるフィジカルアセスメントの実際と所見から得られる患者の状況を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E1-(2)- -1、E1-(2)- -8	泉 剛
4	病棟における薬剤師業務の実際	病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -2	大川原 淳 泉 剛
5 ) 6	呼吸音・心音の聴診、血圧測定	特徴的な病態における肺音、心音、腸音について説明できる。 バイタルサインから疾病を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(3)- -4	藤崎 博子
7 ) 8	在宅訪問診療シミュレーション (簡単な症例)	認知症患者の在宅訪問において修得したフィジカルアセスメント等により患者を評価、適切な薬物治療を提案することができる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(3)- -3、F-(5)- -1	山口 俊司
9 ) 10	在宅訪問診療シミュレーション (複雑な症例)	がん終末期患者の在宅訪問において修得したフィジカルアセスメント等により患者を評価、適切な薬物治療を提案することができる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(3)- -3、F-(5)- -1	山口 俊司

**【授業実施形態】**

**面接授業**

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

講義担当者ごとにGoogle formで小テストを行い、総計点で評価する。

**【教科書】**

1. 「薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント」河野 茂 監修 南江堂
2. 「病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版」尾上 尚志 他監修 MEDIC MEDICO
3. 「診察と手技がみえる vol.1 第2版」古谷伸之 編 MEDIC MEDICA

**【参考書】**

「フィジカルアセスメントに基づく症例解析と薬物治療」 大林恭子、中村智徳 京都廣川書店

**【学修の準備】**

当日の授業範囲を予習し、あらかじめ疑問点等を把握しておくこと（50分）。

復習を兼ねて講義のレポートをGoogle formで作成し、提出すること（50分）。

**【実務経験】**

泉 剛（医師）、大川原 淳（医師）、藤崎 博子（薬剤師）、山口 俊司（薬剤師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での医師、薬剤師としての実務経験をもとに、臨床に即したフィジカルアセスメントの講義、実習を行う。